

各位

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
 代表者名 代表取締役 笹野 幸明
 コード番号 6466
 上場取引所 東証2部
 本社所在地 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
 問い合わせ先 管理本部長 飯田 明彦
 TEL 06(6416)1184

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年9月7日に公表した平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日から平成30年9月30日まで）を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

金額単位：百万円

1. 業績予想の修正

平成30年9月期連結業績予想数値の修正（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,000	150	190	175	円 銭 77.01
今回修正予想 (B)	8,100	540	580	480	211.24
増減額 (B-A)	100	390	390	305	-
増減率 (%)	1.3%	260.0%	205.3%	174.3%	-
(ご参考) 前期実績 (平成29年9月期)	8,102	243	287	184	81.25

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 15.00	15.00	円 銭 30.00
今回修正予想		20.00	35.00
当期実績	15.00		
(ご参考) 前期実績 (平成29年9月期)	15.00	15.00	30.00

修正の理由

当連結会計年度の業績は、売上高は81億円、営業利益5億40百万円、経常利益5億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億80百万円となる見込みです。

前回修正は、期末日付近に納期を迎える大型工事案件についての遅延懸念が払拭されたことを理由として開示に至りました。しかしその後、当期中に受注を予定していた大型案件の商談進捗が遅延気味となったことから、この受注（決定）に伴い計上予定であった受注損失引当金の当期業績影響が無くなったことに加え、最終的に変動費率、たな卸増減影響が想定より改善したため、上記のとおり再度、予想値の修正を行います。

前回修正でもご説明したとおり、当連結会計年度は当初想定より収益面では微増に留まるものの、原発定期検査工事案件の増加、バルブ製品の生産増加による操業度改善等、大幅な減収を想定していた製鋼事業の極度の業績悪化を回避、バルブ事業での製品生産増加による工場（伊賀工場）稼働維持等で、損益は期初の想定を大幅に超える見込みでした。

今回修正の主因である受注損失引当金は、工事契約に関する会計基準に基づき、受注段階で見込まれる重要な損失について受注時点で引当金として認識するもので、納期が長期に亘る案件であっても一時に損失を認識することになり、業績に対する影響は非常に大きなものとなるため、業績想定にあたっては基本保守的な運用とならざるを得ず、期末日付近であるにも係らずこのような大幅修正となったものです。

期末配当につきましては、上記のような内容とはいえ、当期業績がさらに改善となったことから、安定配当を旨とする基本方針に沿い、前期より5円増額した20円の想定に修正いたします。

以上